

施策コード	5-5
-------	-----

中心所管課	都市計画課
関連所管課	区画整理課／東港地区開発推進室

第5章	人と人がつながり快適な暮らしを支えるまちづくり -都市基盤整備-							
基本施策名	5 市街地整備・都市景観							
総合計画の目標指標								
指標名	単位	策定時	実績値			目標値		SDGs独自指標
		R2	R3	R4	R7	R12		
居住誘導区域の人口密度	人/ha	47.0	48.2	48.2	45.4	44.6		
公園の利用者満足度	%	36.3	—	32.3	37.5	38.5		
景観まちづくり参加の重要性に関する関心度	%	66.1	—	63.0	68.0	70.0		

施策の内容(主な取組)		
単位施策名	実績・成果	今後の方向
1 歩いて便利に生活できる市街地の形成	民間施行者が実施する蒲郡駅北地区優良建築物等整備事業の既存建築物除却及び補償費の一部に対して補助金交付。 蒲郡中部土地区画整理事業では、移転補償3戸、道路整備L=210mを実施した。 蒲郡北駅前広場における社会実験として9店舗のキッチンカー等の出店を行った。	民間活力を有効利用しながら土地の共同化・高度化による市街地の整備改善を図る。 土地区画整理事業を推進し、人口密度と良好な住環境の確保を図る。 駅前広場における賑わいやまちの活力創出を図る取組を引き続き行う。
2 安全で魅力ある公園・緑地の確保	照明施設更新(西田川公園、寺戸公園、半ノ木公園)、休養施設更新(寺戸公園)、遊具更新(蒲形公園、新井公園、春日浦公園、前田公園)、松前公園実施設計、植樹祭(双太山公園)を行った。	長寿命化計画に基づき公園施設の更新を引き続き行う。また、新規公園整備、植樹祭を開催し、安全で魅力ある公園の整備、緑地の確保を進める。
3 良好な都市景観形成に向けた取組	蒲郡市なんでも出前講座に小学生を対象とした景観講座を用意した。 9月の屋外広告物適正化旬間に合わせて屋外広告物のパトロールを実施。無許可広告物の是正(3件)等を行った。	出前講座の周知を行い、本市特有の自然環境に恵まれた景観の重要性を発信する。 良好な景観形成を図るために、屋外広告物のパトロールを継続する。

個別計画の目標指標								
計画名	蒲郡市立地適正化計画(令和元年公表)					計画期間	～令和22年度	
指標名	単位	策定時	実績値				目標値	
		R2	R3	R4	R5	R6	R7	R12
居住誘導区域の人口密度	人/ha	47	48.2	48.2				45

主要事業の実績評価					
施策番号	事業名	事業費(千円)		実績(R4年度)	今後の方向
		R4(決算額)	R5(予算額)		
		人工			
1	蒲郡駅北地区優良建築物等整備事業	240,800	240,800	民間施行者が行う既存建築物の除却、補償費に対して補助金交付	蒲郡市優良建築物等整備事業補助金交付要綱に基づき、民間活力による市街地の整備改善を図る。
		1.0人区			
1	蒲郡中部土地区画整理事業	400,528	320,891	移転補償3戸、道路整備L=210m	生活道路の整備などの継続的な実施により、地域の安全性の向上や良好な住環境の整備を図る。
		6.0人区			
1	蒲郡北駅前広場社会実験	0	0	他市事例調査 利用事業者募集要項作成 社会実験実施(9店舗)	社会実験を実施したことで得た課題や知見を踏まえ、賑わいやまちの活力創出を図る施策の研究を進める。
		1.0人区			
2	公園施設更新	10,230	18,100	ナイター照明更新4基、照明灯更新3基(西田川公園、寺戸公園、半ノ木公園)、パーゴラ更新1基(丸戸公園)	長寿命化計画に基づき公園施設の更新を引き続き行う。
		0.2人工			
2	公園遊具更新	40,952	56,900	遊具更新、(蒲形公園、新井公園、春日浦公園、前田公園)	長寿命化計画に基づき公園施設の更新を引き続き行う。
		0.7人工			
2	松前公園実施設計委託料	6,700	3,806	松前公園実施設計	令和5年度に実施設計に基づく松前公園整備を実施する。
		1.0人工			
2	植樹祭開催	3,396	3,300	双太山公園植樹祭開催 参加者50人	既設公園にて植樹祭を行う。
		0.1人工			
3	蒲郡市なんでも出前講座(景観講座)	0	0	景観講座を蒲郡市なんでも出前講座へ登録	小学生を対象とした講座を準備したため、小学校の総合学習の一環として取組できないかを検討する。
		0.5人工			
3	屋外広告物パトロール	0	0	国道247号及び国道23号の一部区間でパトロールを実施 無許可広告物の設置者に対して、許可申請依頼	屋外広告物適正化旬間に合わせたパトロールを実施し、良好な景観形成を図る。
		1人工			

総括評価	成果	本市の都市計画に関する基本的な方針を定める「蒲郡市都市計画マスタープラン」を令和5年3月に策定した。 本市で初となる優良建築物等整備事業については、既存建築物の除却に着手した。 中部土地区画整理事業については、令和4年度末時点で建物移転状況が95.6%、道路整備状況が93.6%に達することができた。 都市公園については、令和3年度から公園長寿命化計画に基づく施設・遊具更新といった取組みを実施してきた。また、双太山公園において住民参加のもと植樹祭を開催し、新たに整備する松前公園については、周辺住民の方々に意見を伺いながら実施設計を完成させた。
	課題	公園利用者満足度及び景観まちづくり参加の重要性に関する関心度の指標は、策定当初と比較して数値が低下している。 公園利用者満足度については、公園利用者の意見を踏まえた公園施設・公園遊具の更新を進めることで満足度の向上に繋げる必要がある。 景観まちづくり参加の重要性に関する関心度は、住民と力を合わせた景観施策の取組み実施し、地域主体のまちづくりを働きかけ、地域の良好な景観形成を促進することで関心度の向上に繋げる必要がある。
	今後の方向	蒲郡市都市計画マスタープランでは、ある程度長期的な視点で将来ビジョンやまちづくりの方向性を設定した。また、地域ごとの特性や課題を踏まえたうえでの目標・方針を掲げた。新たな蒲郡市都市計画マスタープランに基づき、まちづくりを進めていく方針である。 民間活力を有効利用した市街地環境の整備を引き続き実施する。また、公民連携のまちづくりによる日常的なまちの賑わいや活力が創出できるように、公共空間を提供できる環境等の検討を実施していく方針である。